

# らしんばん



## 議会報告

令和5年12月議会号



発行日 / 令和5年12月31日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

### 目次

ハイライト	P1
1. 県議会12月定例会開催(概要説明)	P1
2. 常任委員会(厚生委員会)の論戦から	P2
3. 施策ごとの取組(県議第4期1年目を振り返りて)	P2~4
4. 視察・研究報告、国へ提出される意見書	P4
5. 地域の課題と進捗状況、ホットなつづやき	P4



### ハイライト

12月定例会本会議で議長席にて議事進行を務めた。質問者は知事の政治姿勢を鋭く追求。答弁漏れをチェック。



私学振興大会のプレイベントで行われた「私立中高生の料理レシピアイデアコンテスト」の感想を述べた。



静岡県議会議員研修会が、「何故、今、再審法改正が必要か」というテーマで開催。課題が見えてきた。



知事の不適切発言に対し、全会一致で決議を採択。議長室で知事に決議文を読み上げ、渡す議長。



「東アジア文化都市2023静岡県 歓迎レセプション」にて、韓国全州市関係者を前に挨拶。



プロ野球二軍に参入したハヤテ223のホームグラウンドとなる清水庵原球場を視察。改装状況を確認。

## 1. 県議会12月定例会開催(概要説明) 【会期 12月1日~12月21日まで】

5月19日の県議会臨時会で副議長に選出され、これまでに3回の定例会が終了しました。



6月定例会及び9月定例会は、知事の不適切な発言等に関連する議会との軋轢が問題化し、予定時間を大幅に超える議会運営となりました。12月定例会も「東アジア文化都市2023」レガシー発言で開会日及び2日目は混乱しましたが、その後は落ち着いた状況で進み閉会となりました。

12月定例会の2日目は当初、代表質問を予定していましたが急遽、知事発言に対する議会の反発を示す全員一致の決議案採択で幕開けとなりました。

決議案が採択された後、本会議は一旦休憩に入り、正副議長及び各会派代表が議長室に集まり、知事を迎えてこの決議書を手渡しました。その際、議長からは、「6月定例会、9月定例会に続き本定例会までも知事の不適切な発言により、議会運営が混乱したことは誠に遺憾である。」ことを伝えました。

再開後の代表質問では、決議に対する知事答弁があり、謝罪と発言の白紙撤回に追い込まれました。

今定例会で採決された補正予算総額は、当初予算編成後の事情変化により必要となる経費56億円の補正等に加え、物価高騰対策や生産性の向上と成長力の強化、県民の安全・安心の確保等に関連し計368億円等が追加され、合計424億円となっています。

そのほか、職員等の給与改定を行うための条例改正。砂防指定地域内の盛土行為等の違反者に対する罰則の強化等を行うための条例改正。土木工事等の契約について。静岡県立病院機構の中期目標を定めることについて。任期満了に伴う収用委員会委員等の任命について同意を求めるもの等がありました。

国会議員による「政治と金」が大きな問題となっており、県民が苦しんでいる物価高騰などに政治の力を発揮すべき時に、政治に対する信頼が失われる状況は異常としかいえません。地方政治に関わる一人として、襟を正し県民本位の政治が取り戻せるよう心して取り組んでいかねばなりません。

今年度は、県議会厚生委員会に所属し、副議長に就任

鈴木すみよしブログ 検索

最新の活動情報をブログで配信中。





## 2. 常任委員会(厚生委員会)の論戦から(質問項目概要)



厚生委員会で取り上げた質問は以下の通りです。

### 1. 医師確保

#### (次期保健医療計画素案数値目標設定について)

- ① 医師少数県からの脱出(県)、医師少数スポット(各地域)に数値目標を設定した意義と2026年度達成を目標に掲げ実現するための具体策(さらなる対策の強化が必要)について。
- ② 令和6年4月から始まる「医師への働き方改革」は、これまで以上に医師確保のニーズが高まるので、その対応策について。この状況に応じた数値目標の設定になっているか。

### 2. 病院薬剤師少数区域の解消について

薬剤師は国が本年公表した偏在指標で、大半の2次医療圏が「病院薬剤師少数区域」に分類され、2029年度を目途にその解消を目指すとしているが、その解消に向けた具体的な取り組みについて。

### 3. 介護サービス事業への支援について

- ① 介護サービスにおいて、介護人材の確保は急務であり大きな課題であるが、介護事業所の運営はコロナ禍以降も改善されず、厳しい状況が続いている。(全国老人福祉施設協議会の資料では、令和4年度において全国の特養の6割超が赤字とされている。)県は様々な支援策を講じていると思うがその取り組みについて。

- ② 事業団体が令和6年度に向けた県への要望内容

(物価高騰対策と介護報酬改定)についてどのように対応するのか。

- ③ 「業務改善モデル事業」の成果とそれを踏まえた事業者への波及効果。

### 4. 障害者の自立支援について

障害者の立場に立って真の自立とは「自ら収入を得て生活できること」と考えているが、現状からはその実態や成果が見えてこない。県は福産品の販売などに力を注いでいるが、さらに収入を得る取組の強化が必要ではないか。例えば、農福連携などがあり、いわゆる工賃を上げるためには農家にとっての人材確保と障害者の働く場のマッチングは、障害者支援を担当する部署と農業を担当する部署の連携が重要であり、**農家と障害者の両方がWin-Winの関係になるためのさらなる工夫が必要**であり、それが実現できているか。それらを含めた障害者の収入源全体を見渡し、どのような形態で実現しているかを確認することが必要と考えるが、それを判断する情報は提示されていない。どの分野を強化すべきか調査し検討すべきではないか。

10月に実施した厚生委員会の香川県社会就労センターの視察は、その好事例であり参考にすべきと考える。

ここで得られた答弁を元に、今後もその実態調査を進め、施策の効果などを検証していきたいと思います。

## 3. 施策ごとの取組(県議会議員第4期1年目を振り返り)

### 1. 命を守る安全な地域づくり

#### (新たなリスクへの備えの強化)



災害時に外部から医療支援するDMAT(災害派遣医療チーム)の訓練を兵庫県災害医療センターにて視察。静岡県への派遣を想定。



大仁署老朽化に伴い新たな施設を設置。名称も「伊豆中央警察署」に改名。落成式にて県議会を代表して祝辞を述べた。

### 2. 環境と経済が両立した社会の形成



富士市を会場に開催された「ふじのくにセルロース環境経済国際シンポジウム」。脱炭素社会に貢献する植物繊維を原料とし、脱化石と新産業振興の目玉として世界も注目。

私は、本県での取組に当初から関わり、紙のまちの未来像が見えてきた。

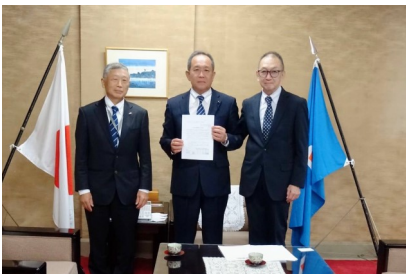
### 3. 子どもが健やかに学び育つ社会の形成



子どもを社会がどう育てていくか。その課題は多様であり複雑化している。一方で、子どものために尽くす政治は欠かせない。県議会を子ども達に知ってもらい、政治の役割を伝えていきたい。



#### 4. 安心して暮らせる医療・福祉の充実



静岡県老人福祉施設協議会から、物価高騰対策や次年度要望を受けた。介護の現場はアフターコロナでも厳しい状況が続く。



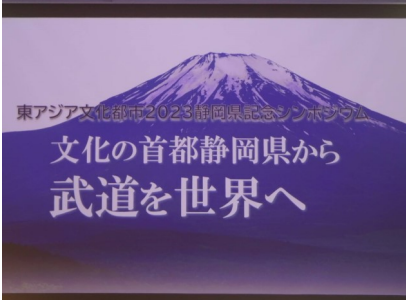
脳の聴覚活用の基礎は1歳までの刺激が重要。難聴の早期発見のための医療体制の充実と乳幼児期の療育環境・サポート体制を実現するための保健福祉教育を。

#### 5. “才徳兼備”の人づくり



15年度 私学振興ふじのく

独自の教育理念を実践する私学。少子化による生徒数の減少や公立のような手厚い支援が困難など、私学に対する振興策は欠かせない。



武道における心と体のメカニズム、人材育成、地域活性化、ツーリズムへの活用など、武道の有する様々な効用を国内外に発信。

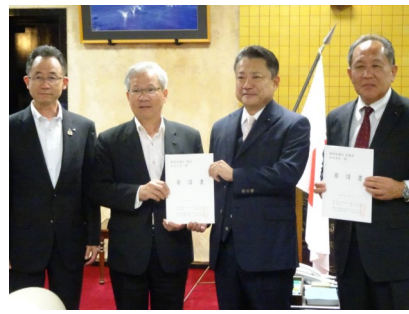
#### 6. 誰もが活躍できる社会の実現



香川県社会就労センター協議会は、障害者の社会的自立に寄与することを目的に設立された特定非営利法人で、食品、手芸、農業等の幅広い分野で、発注者と事業所との間で受発注を調整する共同受注窓口等を行っている。静岡県の農福連携に大いに参考となる事例。



#### 7. 富をつくる産業の展開



JA中央会からの次年度要望。コロナ禍と物価高騰で本県農業は大きな打撃を受けた。みどりの食料システム法に基づく農林水産業の転換を支えることが重要。



お茶の高級志向化と一般に馴染みやすい消費の二極化が進んでいる。茶農家としての経営が成り立っていくために、新しい世代の農家が誕生している。

#### 8. 多彩なライフスタイルの提案



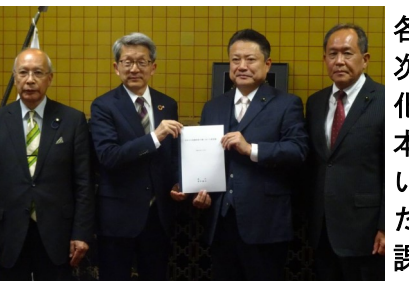
「神奈川・静岡・山梨3県議会の相互の連携に関する覚書」に基づく各県議会正副議長による意見交換会が開催された。各県が取り組む「観光振興について（インバウンド推進の取組）」のテーマで正副議長が報告。隣接する3県も広域で連携し移住定住につながる交流人口、関係人口の拡大を模索していきたい。



#### 9. 地域の価値を高める交通ネットワークの充実



御前崎港セミナーに来賓として出席し挨拶。県西部地区の産業を支える重要な港湾であり、主な荷主が集まり、今後の港湾振興について意見交換した。



各市町首長による県の次年度要望活動が活発化し、まちづくりの基本となる道路整備について熱心な説明を聞いた。要望活動の最重要課題。



## 10. “ふじのくに”の魅力の向上と発信



東京にて首都圏の政財界及び各国駐日大使館等を対象に、静岡県をPRする「ふじのくに交流会」が開催された。私は閉会の挨拶で重ねて地元をPR。



「東アジア文化都市2023静岡県」は12月末まで。「ふじの式典」が浜松市で開催され、次期開催の石川県に引き継いだ。私は県議会を代表し出席した。

## 11. 世界の人々との交流の拡大



「東アジア文化都市2023」では、特に韓国関係者との交流により相互理解が深まった。また、ベトナム駐日大使が来庁し、県議会、県民向けに講演が行われた。

### ◆12月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格の適切な改定を求める意見書
- ② 地方空港の国際定期路線再開に向けた支援の強化を求める意見書
- ③ おたふくかぜワクチンの早期定期接種化を求める意見書
- ④ 認知症との共生社会の実現を求める意見書

### ◆知事に対する決議書

「東アジア文化都市2023に関連し発展的に継承する拠点を三島市内に置きたい旨の知事発言」に関する決議

### ♥ホットなつばやき

知事と議会が確執した「東アジア文化都市2023」レガシーに関する問題は、決まっていないことを外で口外したことに端を発したのですが、私はこの事業そのものについて、機会あるごとに参加してきた立場から、素晴らしい成果があったと実感しています。レガシーは県民にとってプラスになることであり、冷静な議論が必要と考えます。

### 県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ！

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

## 4. 議会外の視察・研究報告



伊豆市にある日本サイクルスポーツセンターで開催された「ジャパン・マウンテンバイク・カップ2023」を視察。



航空自衛隊浜松基地で開催された航空祭に出席。自衛隊関係者と様々な課題で意見交換の場となった。



台湾の台北市温泉発展協会を訪問。温泉を通じた観光振興や富士山静岡空港への台北線復活について意見交換。



「しずおか市町対抗駅伝大会」を視察。地元富士市のアンカーが4位でゴールイン。市陸上関係者と客席から応援。

## 5. 地域の課題と進捗状況（各地の要望等から）



江尾江川の水害対策について、短期、中期、長期の対策が進行中。新たに短期での浸水被害対策を追加検討中。



富士市消防まつり会場では、何人もの消防団員から団員の確保と活動費の増額などについて相談があった。



市内では駐在所や交番の統廃合が進む。地元比奈駐在所の廃止に伴い、住民が駐在所員に感謝を伝えた。



富士市技能者表彰式。関係者によると、年々、受賞者数が減少気味とか。匠の技の継承に課題が見えてきた。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

